

ソフトテニス 双子の樋渡ペア(三枝)
山形県予選 第1位の快挙

右：
第16回全国小学生大会山形県予選小学4年生以下女子の部で見事第1位となった樋渡一葉さん(右)・双葉さん(左)ペア

右下：
同じく真室川ジュニアに所属する先輩の柴田・谷口ペアと一緒に

下：
同予選会6年女子シングルの部で第2位に入賞し全国大会出場を決めた柴田明さん



双子の樋渡ペア 先輩の柴田・谷口ペアに続け!

10月30日、天童市の山形県総合運動公園テニスコートで開催された第16回全国小学校ソフトテニス大会山形県予選(小学4年生以下女子の部)において、樋渡一葉さん・双葉さんペア(三枝・金山小4年)が並みいる強豪をはねのけ第1位という快挙を成し遂げました。

実は樋渡ペアは双子の姉妹。現在中学2年生になるお姉さんの影響で小学1年生の時にテニスを始めました。本予選会も双子ならではの息のあったプレーで、決勝までは全てストレート勝ち。試合の感想を聴くと「決勝で、一度は負けた相手になんとか勝つことができて嬉しかった」と妹の双葉さんは話し、照れくさそうに笑います。決勝戦の相手は第一シードの強敵。3ゲームを先取されましたが、そこから猛烈な粘りを見せ、大逆転劇を演じました。

県内トップクラスの実力を持ち、今年全国大会も経験した同じ真室川ジュニアに所属する先輩の柴田明さん・谷口舞優さんペアは「礼儀正しく、すごく練習熱心」と二人に一目置いています。本予選会でも柴田さんは6年女子シングルの部で第2位に入賞し、全国大会出場を決めています。普段から高いレベルで練習できていることも勝利の要因となったに違いありません。

「二度も練習が嫌だと言ったことがない。毎日練習がしたくてしょうがないみたいだ」とお母さんの明美さんは話します。二人はテニスを始めてまだ3年余り。急成長を遂げている原動力は『テニス愛』かもしれません。来年1月には本予選会ベスト8のペアが全国大会への切符を賭けて総あたりの選考会が行われます。新たな県チャンピオンとなった二人にプレッシャーはない様子。先輩に続いて、めざすは全国大会だ! 頑張れ樋渡ペア!